2013/11/15 UPDATE

困難な状況を好む"大胆さ"と手間を省かずに守り抜く"繊細さ"を持ち合わせた経営術 ～城北化学工業　大田さん～

大田 真司　代表取締役社長　1964年生まれ

城北化学工業株式会社　1958年設立　城北化学設組
商社並（売上約100万円　売上高 / 10億円　従業員数 / 10名
http://www.johoku-chemical.com/

学生interviewer

使えなくなったモノを捨てるという考え方をたくない川田氏。良いものを手入れして長く使うというスタンスに共感します。

大衆に迎合せず、流行にも流されず、自分の感覚で生き抜く。

―幼少時代から振り返って、ご自身はどんな性格でしたか？

自分で自分のことを言うのって難しいよね…。少し素直かないというか、自分で嫌がめないと気が済まないタイプだったな。

―ご自身の性格を物語るようなエピソードはありますか？

小学生の頃はあまり良い思い出がないったんだよね。当たり学生のころがバリ当の人生だったんて言ったら図るけども、ただ、大勢に迎合しない、流行にも流されず、その逆をいくというところが多かったね。

―学生時代、broいやなどの経まれていたことはありますか？

ラーん、ごく普通の学生だったね。本当に特筆点スポーツをするって、ごく普通の学生でした。テニスは中学生からやっているね。それなんだし速手ではなかった。自分の子供の話になってしまうけど、小さい頃からやっておいたほうがいいと思ったからなんだよね。3歳頃からやった方が良いに違いと思ったんだよね。大人になってやったって、良くも悪くもいい人生だよね。特にスポーツと芸術に関しては、鉄は熱いうちに打ってっことよ。

あと、パソコンのタイピングも結構重要だと思っている。今は小学5年生の頃にCDのブラインドタッチを学ばさせていけど、とても速く正確に打てるよね。僕ならかは自己流でやっていたから全くダメだったけど、それでも打てるミスタッチが多かったりするものだよ。

―では、お子さんにはそれを意識して教育されているんですか？

そうだね、基礎はかさい頃から取り組ませないは得にくいから感覚があるから、ある程度強制力というか、課題みたいな形にして本人に取り組ませた方がいいと思っている。

―そのように考えるようになったきっかけは？

それは、自分が出来なかったからだね（笑）。私自身アメリカに行った経験があって英語は話せるようになったけど、母国語として英語を使っているんの持っている感覚には到達できなかった。20歳超えてからやっても無理なんだよね。若いうちからやった方がいいというところもあって、学生のお時間は年生から高二の少学校に通わせている。

―では、大田社長が理想としている人物や現れの存在はいるんですか？

それがね、僕がないんだよ。全くない。影響を受けたものといったら、堅苦しい書物とかじゃっちゃって印ーしいからなぁ。私は父親とか母親に影響を受けたとかは全くないんだよね。それくらいそれでした。大きく影響を受けてきたわけではなかったな。だから完全に自己流の感覚で生きてきたって感じよ。

あんまり平和ているのは好きじゃない。

―ご自身が学生時代メメリカへ留学されていますが、きっかけはなんだったんですか？

外国と関ずっていたいという漠然な意識があったんだよね。日本は当時、バブル崩壊だったからある程度強い生活ができると、周りのんんは不安を抱いていなかったんだよ。でも、もはそういう雰学べて成かないなと感覚的に思っていた。「このままじゃ不ずいな」って、戦成が少カだにいたこともあって、「それだったら行ってみよう！」って思ったんだ。

―アメリカで印象を受けたものはなんですか？

価値観的色々あるこさには、日本は持ったこの価値観があって、それにはめ込まれていやう、そうではなくて、一歩外れれば別の価値観があるから、別の価値から見ることが大事。自分のことを自分で語るのは難しいと最初にいったけど、まさにそうで、日本の豊を理解するには外から見るのが一番良いんだよね。

―では、お仕事の中で、大きな型はなんでしたか？

あまりにも多すぎてかからないくらいだね。それくらい常に型があった。36度で社長に就任して、それからすぐに同時多発テロ、IT バブル崩壊、リーマンショク、東日本大震災と、会社の経営でせ大いんと苦労してきたね。同様の連続に会ちれたこと自体は大切にかないないない。あんまり平和ているのは好きじゃないんですよね。「うわぁ、これそそろやって乗り越えよう」っていう力が湧えるよね！そう言うと周りから「FMさんかないかり なんて言われるけど（笑）。神やいるときはつらいけれど、そういう瞬間が起きるようなときこそ出て行ってしまう、でもそこで自ゆよりも大きな偏に集われちゃう、でも、瞬間で重量な場合あまり次には出て行けず、そこで突破を取っていしずつしずつ大きくなっていくんだ。若さゆえの勇気や大胆さは特権だけれど、個は両方持ちわけている人間だと思っている。

私は絶病、「絶病・不安・恨患」であることは経営者にとって重要。

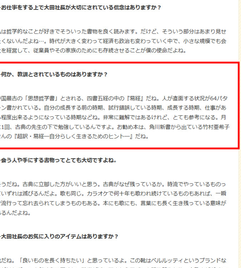
―学生時代から厳しい環境に自を置く傾向はあったんですか？アメリカにも行かれていますし。

そうですね。私は基本的に慣病なんですよ。そして不安りの、それを理そうとする人もいるけれど、それは無駄だと思っている。不安になればそれだけだし、不安である方が、色々自分で考えてどう乗り越えようか重要である。「絶病・恨患・不安」であることは経営者にとっては必要なことかもしれないし、その最も持ち合わせながら、小さく収まるのではなく、「じゃあ、どういう風に進むか、または退却するか」判断するのが重要。

―具体的にはどのようなことですか？

沖縄でシュノーケリングをするとき、そこにはたくさんの魚がいるんだよ。その中で大きくなる魚は標病なんだ。だっていの魚は魚種で群れているよりもなるとなど比で行ってしまう。でもそこで自分より大きな魚に食われちゃう、でも、標病で環境の取れるまり次には出て行けず、そこで突破を取っていしずつしずつ大きくなっていくんだ。若さゆえの勇気や大胆さは特権だけれど、個は両方持ちわけている人間だと思っている。

モノも人も会社も、存続させることが僕の使命。



―お仕事を通して大田社長が大切にされている信念はありますか？

私は哲学的なことが好きでそういった書物を良く読みます。だけど、そういう部分はあまり見せたくないんだよね～。時代が大きく変わって経営の在り方っていうのが不、小さな規模でも会社を経営して、従業員やその家族のためにも存続させることが僕の使命だよね。

―何か、信念とされているものはありますか？

中国最古の「思想哲学書」とされる、四書五経の中の「易経」だね。人が直面する状況64パターン書かれている。自分の成長する過の時間、試行錯誤している時間、成長する時期、仕事がある程度出来るようになっている時期など。非常に難解ではあるけど、とても参考になる。月に1回、古典の先生の下で勉強しているんです。お勧めまき。陶朱猗倉から出ている分村塾有子さんの「超訳 易経 ―自分らしく生きるための31のヒント―」です。

―会う人や手にする書物ってとても大切ですよね。

そうだね。古典に立脚した方がいいと思う。古典がなぜ残っているか、時代でやっているものっていずれは滅びるんだよ。歴史に残っている物や名著のお話ていうものもあるわけ。一時で流行って忘れ去られてしまうものもある。本に名著にも、真実にも長く生き抜いている意味があるんだよね。

―大田社長のお気に入りのアイテムはありますか？

結構ね。「良いものを長く持ちたい」と思っているよ。この時はペルルッテイというブランドなんだけれど、１０年くらい使くる。結構打成ってきたらリペを当てる場合たり、中革はボアメになったら違ってもらったり、色ないも含えてもらったりとこ。ここがダメになったら、その部分を張り換えるという具合に永久に使い続けるんだよ。ペルルッテイはお気に入りでペルルトも名刺ケースも同じだね。使えなくなったら修てるという発想はない、ものごだわりだね。

―これは会社に対する思いと言ってもよいですか？

そうだね。昔からの古い工場もメンテナンスしながら維持させてきたし、社名も他のままでちょっと扱いでしょ。変えた方がいいんじゃないかって意見もあったんだけど、このままでいいと思ってる。変えなくていいものは変えないし、変えた方がいいものは変える。た圧倒っていくものっていうのは、ちゃんと残っていくから自。

―最後に、学生に一言お願いします。

環境がどんんん変化しているので、世の中がこういう学生だとか、既成概念だとかいろんな型にはめる傾向が多い。むちろん最低限のものは守りつつ、そうではない部分は自分で考えた感じで自分のやり方で行動していってもらいたいね。早く上達したいという人も多いけれど、疑様に焦ったものは疑様に失うし、打成だと、苦労して楽しい時間ができたりするものなんだよね。だから、打成だと、苦労して楽しい時間ができたりするものなんだよね。

（おわり）

VIVBLT 0
ツイート 2
Like
G+1 0

イノベーション　人と繋ぐ　挑戦好き　社長

イキカタルボ★　イナンバ　ベテラン　仲間　人生観　仲間　旅行
休製談　人と繋ぐ　会社　夢探　構成　社長　繋ぐ　繋ぐ
夢探　繋ぐ　夢探　新定・サークル

VIVBLT 0
ツイート 37
Bookmark 0
G+1 0

お知らせ

女性社会人特集

編集部のオススメ記事

Facebookカウント
イキカタルボ　―学生が現状打破し 社会人の「仕事と遊び」―
いいね！ 1,708人
イキカタルボ　―学生が現状打破し 社会人の「仕事と遊び」―について「いいね！」と言っています。

人気記事（一週間）

「特注なるべく作りないようでいる」ランプルに生きることに妻子を感じる社長。　―日本語 妻子子　加藤さん―

「自社は本当の意味どうもだ型当社」イタメに生産の思い使い　ベリンピングバス　北村さん―

「人と違うことをしよう！」リユニークな発想力と人柄力をいかして今を生きる　―ユニアスクォーター　藤木さん―

かつてのバブル絶頂型は、いかにして全社にだけでない地域型基ん、と考えたのか。　―エアテック　伊藤さん―

アーカイブ

2014年1月
2013年12月
2013年11月
2013年10月
2013年9月
2013年8月

仕事探しに役立つ！
どこよりも自社のことがよくわかるアンケサイト
カイシャの評判 powered by
「力」のある会社・ホワイトベンチャー企業を多数掲載
100%本当の声のみ！人事・採用
just 学生の就職情報

© 2013 en-japan Inc. All Rights Reserved.